

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の概要（和歌山県）

1 調査の概要

(1) 調査日 平成30年4月17日（火）

(2) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査内容

① 調査を実施した学校・児童生徒

全公立小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

全公立中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

	国語A	国語B	算数A・数学A	算数B・数学B	理科
学校数・児童数(小6)	228校・7,378人	228校・7,377人	228校・7,379人	228校・7,376人	228校・7,378人
学校数・生徒数(中3)	120校・7,214人	120校・7,207人	120校・7,217人	120校・7,216人	120校・7,227人

② 教科に関する調査

- ・主として「知識」に関する問題…[国語A、算数A・数学A]
- ・主として「活用」に関する問題…[国語B、算数B・数学B]
- ・主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題…[理科]

③ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
- ・学校に対する調査
(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

2 教科に関する調査結果

(1) 全国（公立）の平均正答率の状況

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
H19	81.7	62.0	82.1	63.6		81.6	72.0	71.9	60.6	
H20	65.4	50.5	72.2	51.6		73.6	60.9	63.1	49.2	
H21	69.9	50.5	78.7	54.8		77.0	74.5	62.7	56.9	
H22	83.2-83.5	77.7-78.0	74.0-74.4	49.1-49.5		75.0-75.2	65.1-65.5	64.4-64.8	43.1-43.5	
H24	81.4-81.7	55.4-55.8	73.1-73.5	58.7-59.1	60.8-61.1	75.0-75.2	63.2-63.4	62.0-62.3	49.2-49.5	50.9-51.1
H25	62.7	49.4	77.2	58.4		76.4	67.4	63.7	41.5	
H26	72.9	55.5	78.1	58.2		79.4	51.0	67.4	59.8	
H27	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
H28	73	58	78	47		76	67	62	44	
H29	75	58	79	46		77	72	65	48	
H30	71	55	64	52	60	76	61	66	47	66

※ H22、H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は、東日本大震災の影響により実施見送り。
 ※ H28からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

(2)和歌山県（公立）の平均正答率の状況

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
H19	81.1	59.0	82.6	62.9		80.3	67.0	72.8	58.2	
H20	64.3	47.4	72.7	48.9		71.9	57.0	64.3	48.8	
H21	69.8	48.4	79.4	53.0		74.9	70.7	63.1	56.0	
H22	81.8-83.2	75.0-77.0	72.6-74.6	46.9-48.9		71.8-73.0	61.1-62.7	64.0-65.7	41.0-43.2	
H24	79.2-80.7	50.9-52.9	72.0-73.8	55.8-57.7	57.2-58.9	73.9-75.2	61.0-62.5	62.0-63.8	47.4-49.7	48.9-50.8
H25	62.4	47.5	76.4	56.9		74.4	64.3	63.4	40.3	
H26	69.4	53.4	76.8	55.7		77.4	47.5	65.9	56.8	
H27	69.5	64.5	75.6	44.9	59.0	73.4	62.9	64.0	39.6	50.1
H28	70	56	77	46		74	63	62	43	
H29	75	57	79	46		77	70	65	48	
H30	72	55	63	51	60	75	59	67	45	65

※ H22、H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。
 ※ H28からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

(3)和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
県	72	55	63	51	60	75	59	67	45	65
全国	71	55	64	52	60	76	61	66	47	66
差	1	0	-1	-1	0	-1	-2	1	-2	-1

○小学校は、国語A、Bと理科が全国平均以上となり、算数A、Bが全国平均を下回った。また、中学校は、数学Aが全国平均を上回り、国語A、Bと数学B、理科が全国平均を下回った。

(4)和歌山県（公立）の無解答率〔平均〕と全国（公立）の無解答率〔平均〕との比較

(小学校)

単位：%

	国語A		国語B		算数A		算数B		理科	
	県	全国								
H27	3.0	3.6	5.9	6.1	1.5	1.8	9.4	9.1	3.3	3.2
H28	5.1	5.3	4.2	4.6	1.5	1.8	7.1	7.4		
H29	1.8	2.8	3.3	4.3	1.0	1.6	5.3	6.4		
H30	2.8	3.5	2.7	3.8	1.7	2.5	6.3	7.9	0.8	1.2

(中学校)

単位：%

	国語A		国語B		数学A		数学B		理科	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H27	2.8	2.6	3.0	2.2	3.8	3.7	16.4	15.3	7.7	7.0
H28	2.0	2.0	4.9	4.4	5.9	6.3	15.0	14.7		
H29	1.9	2.4	3.5	3.8	4.6	6.3	9.7	11.7		
H30	2.9	3.1	3.2	3.0	2.6	3.3	11.5	12.6	4.9	5.0

○小学校は、昨年度と同様にすべての教科で全国平均より低くなった。中学校は、国語B以外の教科が全国平均より低くなった。

(5)記述式問題における和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：%

	小国B	小算B	小理	中国B	中数B	中理
県	35.8	44.5	27.3	48.8	26.5	48.2
全国	33.2	43.9	28.0	50.3	27.9	50.1
差	2.6	0.6	-0.7	-1.5	-1.4	-1.9

○小学校は、国語Bと算数Bが全国平均を上回り、中学校は、すべての教科が全国平均を下回った。

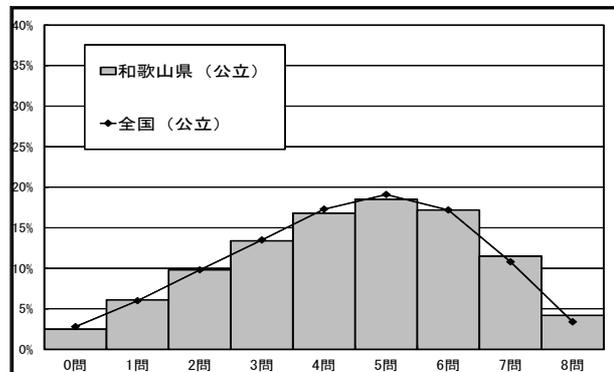
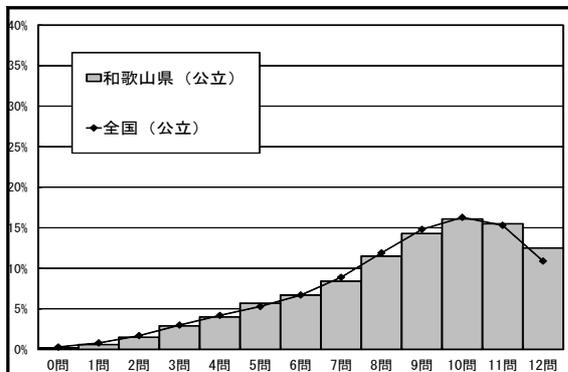
3 教科の概要 【小学校国語】

◇…「できている」と考えられるもの
◆…「課題がある」と考えられるもの
[]内は、問題番号と正答率

- 国語A（知識）の平均正答率は72%であった。
 ◇相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことは、相当数の児童ができている。[A1] 91.4%
 ◇日常生活で使われている慣用語の意味を理解し使うことは、相当数の児童ができている。[A6] 90.6%
 ◆文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。[A5] 36.6%
- 国語B（活用）の平均正答率は55%であった。
 ◇話合いの参加者として、質問の意図を捉えることは、概ねできている。[B1] 82.3%
 ◆話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題がある。[B1]三 36.2%
 ◆目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題がある。[B2]二 14.9%

[国語A]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,378	72
全国(公立)	1,030,025	71

[国語B]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,377	55
全国(公立)	1,029,799	55

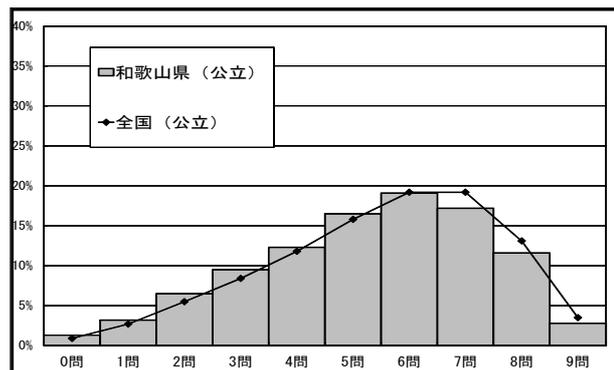
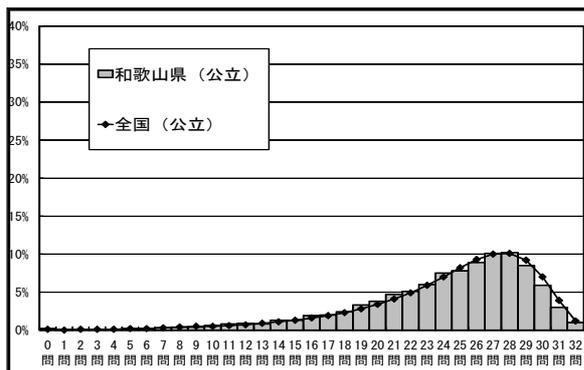


【中学校国語】

- 国語A（知識）の平均正答率は75%であった。
 ◇話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことは、概ねできている。[A1] 86.1%
 ◇書こうとする事柄のまとめ方や順序を考えて文章を構成することは、概ねできている。[A2] 88.3%
 ◆目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに課題がある。[A8]四 19.6%
- 国語B（活用）の平均正答率は59%であった。
 ◇話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問することは、概ねできている。[B2] 87.1%
 ◆文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることに課題がある。[B1] 42.7%
 ◆目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことに課題がある。[B1]三 11.2%

[国語A]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,214	75
全国(公立)	966,764	76

[国語B]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,207	59
全国(公立)	966,786	61



【小学校算数】

○算数A（知識）の平均正答率は63%であった。

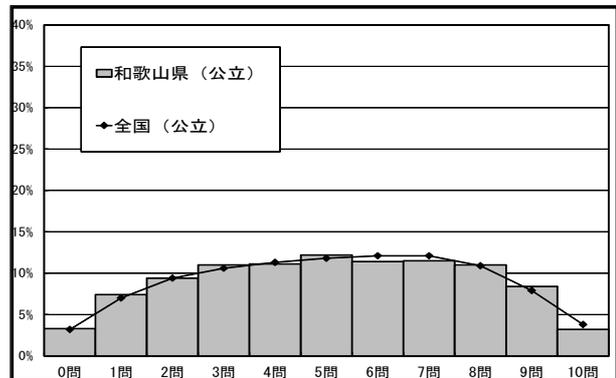
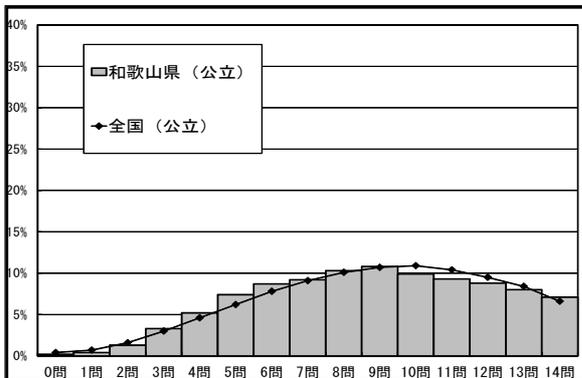
- ◇異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解することは、概ねできている。[A4](1) 89.6%
- ◇ 180° の角の大きさを理解することは、相当数の児童ができています。[A5](1) 95.3%
- ◆1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことに課題がある。[A1](2) 60.6%

○算数B（活用）の平均正答率は51%であった。

- ◆合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことに課題がある。[B1](1) 66.6%
- ◆メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述することに課題がある。[B3](1) 20.0%

[算数A]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,379	63
全国(公立)	1,030,013	64

[算数B]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,376	51
全国(公立)	1,029,847	52



【中学校数学】

○数学A（知識）の平均正答率は67%であった。

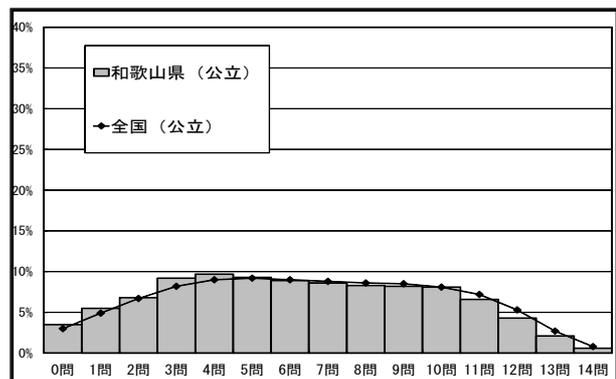
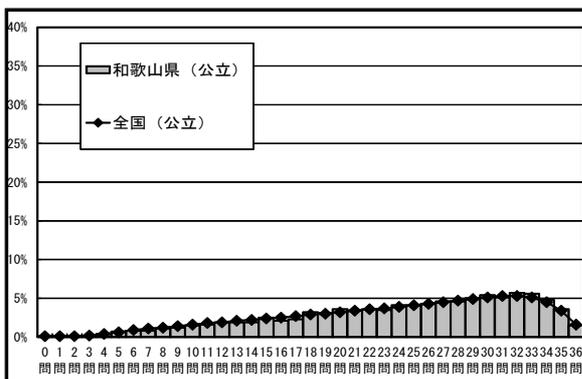
- ◇数直線上に示された負の整数を読み取ることは、相当数の生徒ができています。[A1](1) 94.9%
- ◇単項式どうしの除法の計算をすることは、相当数の生徒ができています。[A2](2) 92.5%
- ◆一次関数の意味を理解することに課題がある。[A12] 38.3%

○数学B（活用）の平均正答率は45%であった。

- ◆不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することに課題がある。[B1](3) 32.7%
- ◆事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することに課題がある。[B3](1) 62.8%

[数学A]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,217	67
全国(公立)	966,969	66

[数学B]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,216	45
全国(公立)	966,908	47

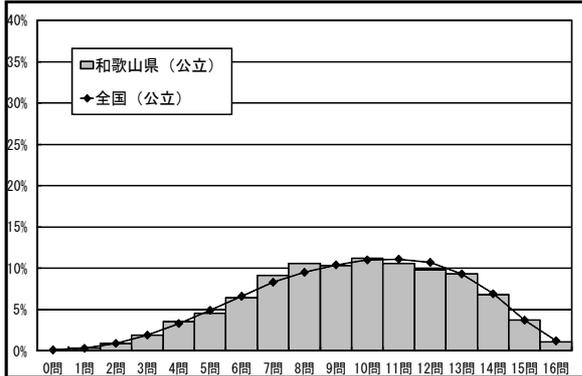


【小学校理科】

○理科の平均正答率は60%であった。

- ◇より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察することは、概ねできている。[4](2) 88.5%
- ◆より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することに課題がある。[2](3) 21.1%
- ◆実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述することに課題がある。4 33.5%

[理科]	児童数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,378	60
全国(公立)	1,029,828	60

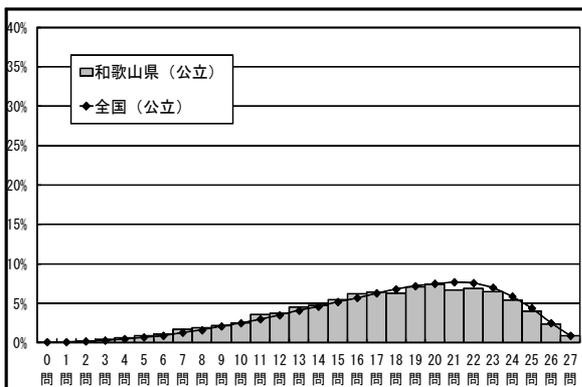


【中学校理科】

○理科の平均正答率は65%であった。

- ◇初期微動継続時間の長さや震源からの距離の知識と音の速さに関する知識を活用することは、相当数の生徒ができています。[7](3) 94.0%
- ◆風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用することに課題がある。[3](1) 36.4%
- ◆植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘することに課題がある。[9](2) 16.7%

[理科]	生徒数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,227	65
全国(公立)	967,188	66



4 質問紙調査の結果

(1) 【学習に対する関心・意欲・態度】

- ① 「勉強は好きですか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校の算数では全国を上回っているが、小学校の理科、中学校の数学では全国を下回り、中学校の理科では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28算数	68.4	66.0	2.4
H29算数	68.6	65.9	2.7
H30算数	64.8	64.0	0.8
H24理科	79.5	81.5	-2.0
H27理科	82.6	83.5	-0.9
H30理科	81.0	83.5	-2.5

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28数学	53.9	56.0	-2.1
H29数学	54.5	55.4	-0.9
H30数学	52.5	53.9	-1.4
H24理科	56.3	61.6	-5.3
H27理科	57.9	61.9	-4.0
H30理科	57.2	62.9	-5.7

- ② 「授業の内容はよく分かりますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校の算数、中学校の数学、理科では全国を上回り、小学校の理科では全国と同程度である。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28算数	82.6	80.2	2.4
H29算数	83.2	80.6	2.6
H30算数	86.4	83.4	3.0
H24理科	84.1	86.0	-1.9
H27理科	88.1	87.9	0.2
H30理科	88.8	89.4	-0.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28数学	69.8	69.4	0.4
H29数学	72.8	69.4	3.4
H30数学	75.0	71.0	4.0
H24理科	61.3	64.1	-2.8
H27理科	67.0	66.8	0.2
H30理科	71.4	70.0	1.4

- ③ 「算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を上回り、中学校では、全国と同程度である。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	82.7	81.0	1.7
H29	83.3	81.1	2.2
H30	80.0	78.4	1.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	72.0	72.1	-0.1
H29	74.1	73.5	0.6
H30	70.2	70.3	-0.1

- ④ 「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国と同程度であり、中学校では全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	81.6	84.8	-3.2
H29	85.1	86.0	-0.9
H30	84.9	85.8	-0.9

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	77.0	81.1	-4.1
H29	78.0	81.3	-3.3
H30	76.7	80.6	-3.9

- ⑤ 「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H24	64.1	70.1	-6.0
H27	71.8	75.3	-3.5
H30	73.3	75.2	-1.9

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H24	37.9	46.4	-8.5
H27	47.2	55.0	-7.8
H30	50.4	58.5	-8.1

- ⑥「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか（結果をもとに考察している）」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国と同程度であり、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H24	74.2	77.1	-2.9
H27	78.0	80.4	-2.4
H30	81.3	81.8	-0.5

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H24	46.2	56.5	-10.3
H27	60.1	67.2	-7.1
H30	67.1	72.3	-5.2

- ⑦「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H24	61.3	65.2	-3.9
H27	62.7	67.1	-4.4
H30	66.1	68.1	-2.0

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H24	41.8	49.8	-8.0
H27	46.0	55.0	-9.0
H30	51.9	59.0	-7.1

(2) 【学習指導】

- ①「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	75.0	77.8	-2.8
H29	75.5	77.9	-2.4
H30	75.3	76.7	-1.4

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	68.7	73.8	-5.1
H29	70.8	74.9	-4.1
H30	70.2	73.8	-3.6

- ②「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	59.6	64.2	-4.6
H29	61.8	64.9	-3.1
H30	58.4	61.0	-2.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	49.3	57.7	-8.4
H29	52.3	57.9	-5.6
H30	47.5	53.8	-6.3

- ③「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を上回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	65.0	68.3	-3.3
H29	64.6	68.2	-3.6
H30	78.0	77.7	0.3

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	60.2	64.8	-4.6
H29	59.8	64.8	-5.0
H30	71.1	76.3	-5.2

(3) 【学習習慣・読書習慣】

- ①「自分で計画を立てて勉強をしていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を上回り、中学校では全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	57.1	62.2	-5.1
H29	61.0	64.5	-3.5
H30	68.2	67.6	0.6

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	43.5	48.4	-4.9
H29	46.3	51.5	-5.2
H30	48.5	52.1	-3.6

- ②「学校の授業の予習・復習をしていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を上回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
予習 H28	39.7	43.3	-3.6
予習 H29	38.9	41.0	-2.1
復習 H28	53.0	55.2	-2.2
復習 H29	54.0	53.8	0.2
H30	65.5	62.6	2.9

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
予習 H28	27.9	34.2	-6.3
予習 H29	26.6	31.7	-5.1
復習 H28	39.5	51.0	-11.5
復習 H29	39.3	50.5	-11.2
H30	48.6	55.2	-6.6

- ③「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」について、「全くしない」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国より高く、中学校では差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	22.0	20.6	1.4
H29	21.9	20.5	1.4
H30	19.6	18.7	0.9

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	44.2	37.2	7.0
H29	43.3	35.6	7.7
H30	40.8	32.9	7.9

- (4) 【生活習慣・自己肯定感・規範意識】

- ①「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」について、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	91.2	90.8	0.4
H29	92.1	91.2	0.9
H30	89.6	88.8	0.8

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	92.9	92.3	0.6
H29	93.6	92.4	1.2
H30	90.5	90.3	0.2

- ②「自分には、よいところがあると思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を上回り、中学校では全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	77.3	76.3	1.0
H29	78.1	77.9	0.2
H30	86.0	84.0	2.0

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	67.2	69.3	-2.1
H29	70.2	70.7	-0.5
H30	77.3	78.8	-1.5

- ③「学校のきまりを守っていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国と同程度である。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	91.7	91.5	0.2
H29	92.1	92.6	-0.5
H30	89.5	89.5	0.0

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	92.7	94.7	-2.0
H29	94.4	95.2	-0.8
H30	94.6	95.1	-0.5

- ④「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	97.2	96.6	0.6
H29	96.8	96.1	0.7
H30	97.6	96.8	0.8

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	94.7	93.6	1.1
H29	93.7	92.8	0.9
H30	96.0	95.5	0.5

(5) 【地域とのつながり】

- ① 「5年生まで（1・2年生のとき）に受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H29	69.6	70.2	-0.6
H30	77.6	74.4	3.2

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H29	52.6	53.7	-1.1
H30	69.7	68.7	1.0

- ② 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国と同程度であり、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H28	67.9	70.6	-2.7
H29	60.8	63.9	-3.1
H30	63.4	63.8	-0.4

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H28	61.3	65.8	-4.5
H29	53.5	59.2	-5.7
H30	52.6	59.3	-6.7

- ③ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国より低く、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H29	39.2	42.3	-3.1
H30	47.5	49.9	-2.4

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H29	29.7	33.4	-3.7
H30	33.3	38.7	-5.4